

## 研修報告

|   |                      |     |            |
|---|----------------------|-----|------------|
| 日 時   | 平成30年6月25日（月）14時～16時 | 場 所 | 堺市産業振興センター |
| 参加人数  | 69名                  | 講師名 | 寺見 陽子 氏    |
| テーマ   | 乳児保育の内容              |     |            |
| <p>◎質のある保育の内容とは</p> <p>○乳児の生命と生きる権利、発達、育ちの保障<br/> ⇒乳児は保護者が必要。保護者の生活状況を把握、サポートを行い共通理解のもとで保育をする。<br/> 月齢に応じた必要な刺激を与える。発達を待つだけではダメ。<br/> 形に囚われすぎると子どもの本性を捉えられにくい。<br/> 大人の存在が無いと自我が育たない。</p> <p>○乳児の育ちの援助</p> <p>①健やかにのびのびと育つ<br/> ②身近な人と通じあう<br/> ③身近な物と関り感性が育つ<br/> ※3つが上手く調和されるように援助していく。<br/> 人や物との関りで心が芽生える。自分を表現し、それを受止めてくれる人</p> <p>◎乳児の発達援助の視点</p> <p>○乳児期は人としての基盤を作る。<br/> ○コミュニケーション能力、人を受入れ<u>自分を表現する</u>。<br/> ↳心の中にある物を相手に解るように表現する。<br/> ○10ヶ月頃から指差し⇒意思があるから指をさす。<br/> ○大人を振り回すことによって自分の存在を確認する。</p> <p>◎育ちの捉えとかかわりの視点</p> <p>○基本的信頼感と愛着形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応答→予測と期待 満たされる→納得・満足感＝安心感</li> <li>・興味、関心、探索 馴れ染み（心地よさ）＝気になる（気にいる）＝愛着あるいは嫌悪<br/> 好き・好きではないの二極化</li> <li>・意識すること（共同注意・注目） 自芽が芽生える→相手の距離感を作る</li> <li>・繋がろうとしたりとしたり、繋がりを試す＝関係形成</li> <li>・サインへの気づき→意味づくりと了解＝受容と共感、受容感と肯定感</li> </ul> <p>○周りをつながりづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己と周りの関係をその子なりのやり方でつくる</li> <li>・他者と了解（共有）された意味づけすることでコミュニケーションの獲得</li> <li>・受容と共感の過程、葛藤と感情の調整過程</li> <li>・他者との関わりの中で形成される育ち→安心感と心地良さや自己表現、言葉と関係性</li> </ul> <p>○安心・愛着の形成と自己存在への気づき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心感・信頼感→開かれた関係づくり、</li> <li>・視線、場、意味の共有と応答的なかわり</li> <li>・自己表現の促しと受容</li> <li>・感情調律（授乳6ヶ月ぐらい）、感情調整（1歳以降）<br/> →人の気持ちによって感情調律の型はめをする<br/> 葛藤と攻撃性の処理→攻撃がひどくなると自傷行為をする<br/> 内向的は慎ましいが切れると鬱になる</li> <li>・規則性への気づき→泣いたら来るなど、ある一つの方向性があることを知る</li> </ul> <p>◎個に寄り添うかわりと援助</p> <p>○子どもの行為の意味＝表現・行為の両義性と自己性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りと拒否</li> <li>・愛着とこだわり</li> </ul> |                      |     |            |

- ・安心と退行
- ・信頼と不信
- 他者と自己一真似、フリ、象徴、自己表現
- 自分を軸にした周りとの関係（他者・モノ・自分の関係）
  - 気になったり、お気に入りになる、愛着と密接性の形成、安心して頼りにする、分かち合う関係
- 乳児の育ちと気がかりと課題
  - ・視線と身体の動きの気がかりさ表情
  - ・反応のなさ情緒の不安と自己存在感のなさ
  - ・情緒の不安と自己存在感のなさ
  - ・言葉の遅れ
  - ・噛み付きなどの攻撃的な行動

◎保育者同士では、担当制、情報の共有と地域との連携、カンファレンスを行う

参加された先生方からは、

- ・今の時代だからこそ、乳児期の経験や積み重ねが、いかに大切かということを改めて認識することができました。講義を通し、保護者にも伝えて日々の保育に実践していきたいと思います。
- ・乳児保育について、詳しく知れて良かったです。一人一人の気持ちを汲み取り、寄り添い保育を行って行きたい。

等々ご感想を頂きました。

自園でもご参考に有効にお伝えいただければ幸いです。

